

第2回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム・ダイアログ：多様性と包摂性のある社会のための工学の未来

## 第2部 未来を拓く工学

### 技術の幅と主体の幅

早稲田大学理工学術院 教授

佐々木 葉

1984 早稲田大学建築学科卒 1986東京工業大学大学院修了

東京大学助手・名古屋大学助手・日本福祉大学助教授などをへて2003年より現職

専門は土木分野における景観デザイン・地域計画

Japan Society of Civil Engineers  
**Design Competition**  
土木学会デザインコンペ

**22世紀の国づくり**  
— ありたい姿と未来へのタスク —

「部門A: 22世紀の国づくりのかたち」 / 賞金100万円  
「部門B: 22世紀の国づくりのためのアイデア」 / 賞金10万円

《締め切り》  
部門A 1次審査資料: 2018年9月8日  
2次審査作品: 2018年12月10日  
部門B 登録: 2018年10月28日  
作品提出: 2018年11月5日

《審査員》  
内田まほろ: (日本科学未来館 キュレーター)  
沖 大 幹: (国際連合大学上級副学長・東京大学教授・  
「22世紀の国づくりプロジェクト」リーダー)  
小林 潔司: (京都大学教授・土木学会会長)・審査委員長  
内 藤 廣: (建築家・東京大学名誉教授)  
平田オリザ: (劇作家・演出家、  
大阪大学COデザインセンター特任教授)

WEBサイト:  
<http://jsce-22kunizukuri.net>

主催: 土木学会 22世紀国づくりプロジェクト委員会  
<http://www.jsce.or.jp/>

画像提供: NASA

## 土木学会 「22世紀の国づくりプロジェクト」 2018.5～2019.5

### 提言1

22世紀の国づくりを考えるために、社会経済や個別技術の動向に加えて、我々の「幸せ」とは何か、あるいは我々人類が目指す幸福の実現とは何かについて議論をし、積み重ねていく。

### 提言2

国家100年の計が人材育成なら、国家1000年の計は文化の醸成と伝承である。人がより良く生きられる文化を生み出し、次世代に継承できる社会の構築を目指す。

### 提言3

これからの21世紀の世界史に日本がどのような名を刻み、どのような22世紀を迎えたいかについて、我々は多様な意見を交わし、「22世紀の世界の中の日本」像を野心的に想い描き、その実現に向けて行動を開始する。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な成長



エンジニアリング=実現のプロセス



人々の日々の暮らし・地域の風景



「わたし」の暮らし・「わたし」の認識・「わたし」の選択

ハイテクノロジー

グローバル

委託性

ローテクノロジー

ローカル

関与性

口傾み技術で  
わさび田を再生  
石積み学校 @檜原村

<https://www.optim.cloud/blog/iot/society-5-0-real-world-examples/> より引用加工

<https://www.globaldyne.jp/news/1208.html> より引用加工

ハイテクノロジー

ローテクノロジー

グローバル

ローカル

委託性

関与性

技術の振幅の大きさと主体の多様性

わさび田を再生

石積み学校 @檜原村